

細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

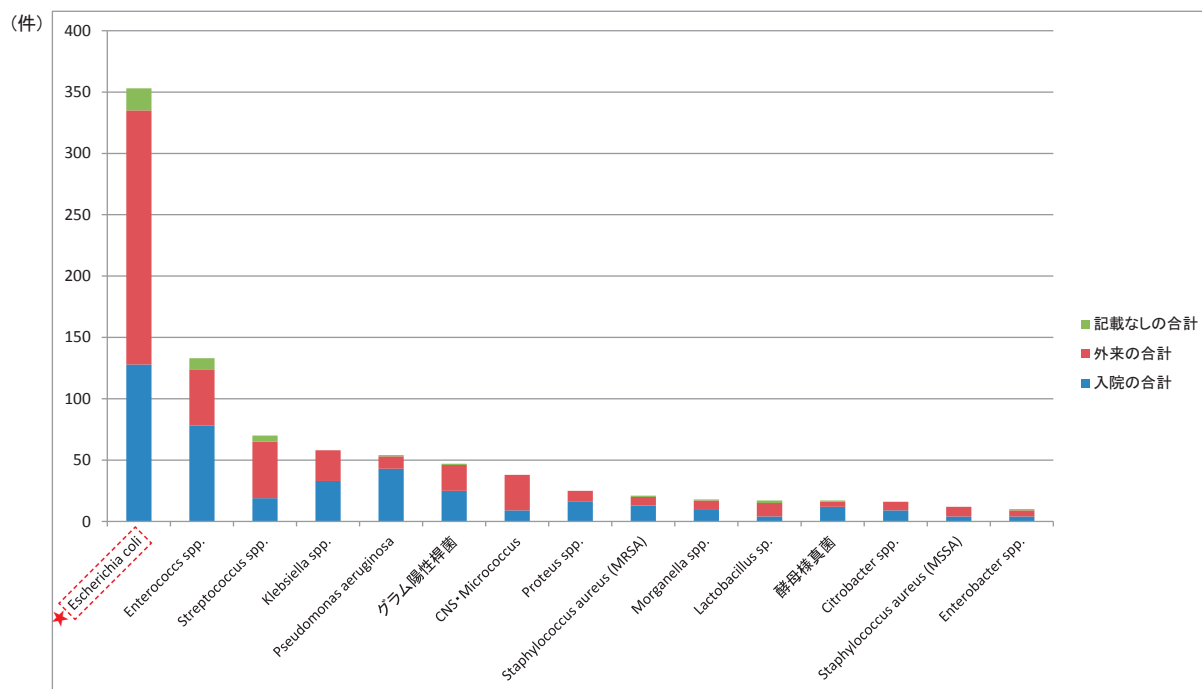


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び薬剤耐性菌分離状況を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は尿の細菌検出状況と *Escherichia coli* の薬剤耐性菌分離状況を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【尿】細菌検出状況 2020年03月



Escherichia coli は通性嫌気性グラム陰性桿菌で、ヒトや動物の腸管内に常在しています。急性膀胱炎や急性腎盂腎炎において最も高頻度に検出されており、その他にも胆道感染症や腹膜炎、血流感染症、髄膜炎など多くの感染症を引き起こします。

【薬剤耐性菌分離状況】

2020年3月分

耐性菌名		呼吸器系		消化器系		泌尿器系		血液・穿刺液系		その他(膿など)	
		耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数
ESBL(基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ産生菌)	Escherichia coli	44%	15	9%	4	26%	98	31%	5	19%	5
	Klebsiella pneumoniae	16%	8	0%	0	23%	11	0%	0	20%	1
	Proteus mirabilis	75%	12	0%	0	53%	9	63%	5	33%	3
	Klebsiella oxytoca	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
CRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)		0.72%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MDRP(多剤耐性緑膿菌)		0%	0	0%	0	2%	1	0%	0	0%	0
MBL(メタロβ-ラクタマーゼ産生菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MDRA(多剤耐性アシネトバクター)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) ※1		61%	152	59%	13	50%	24	60%	9	31%	95
PRSP(ペニシリン耐性肺炎球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
BLNAR(β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性 H.influenzae)		16%	39	0%	0	0%	0	0%	0	22%	6
BLPAR(β-ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性 H.influenzae)		5%	13	0%	0	0%	0	0%	0	4%	1
BLPACR(β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラバン酸耐性 H.influenzae)		2%	4	0%	0	0%	0	0%	0	4%	1

耐性率 = (材料別耐性菌件数) ÷ (材料別対象菌件数) × 100

※1 耐性率 = (材料別 MRSA 件数) ÷ (材料別黄色ブドウ球菌件数) × 100

Escherichia coli は通常、セファロスポリン系薬、カルバペネム系薬などのβ-ラクタム系薬に感性を示しますが、近年、ESBL(基質拡張型β-ラクタマーゼ)産生菌などの耐性菌の増加が問題とされています。当検査センターの2020年3月の薬剤耐性菌分離状況では呼吸器系材料は44%、泌尿器系材料は26%の割合でESBL産生*E.coli*が検出されています。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧いただけます。http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/

検査科微生物係